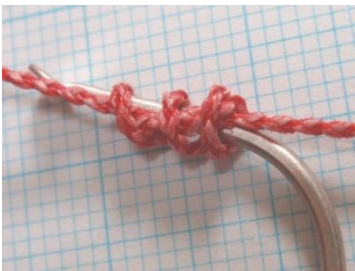
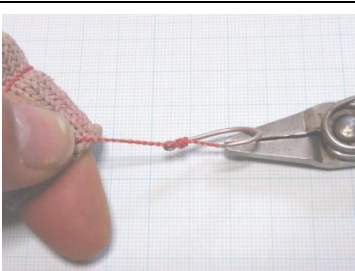
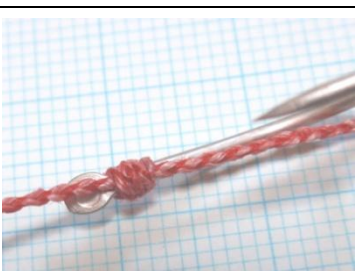
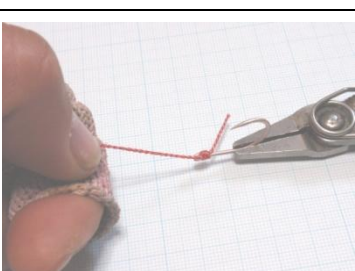
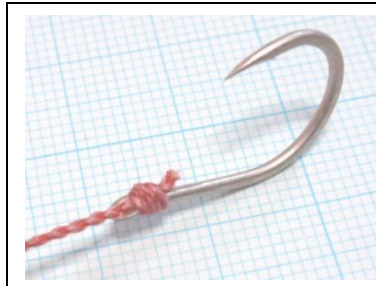
	6、 輪を締めた所です。巻き付けが揃っていることを確認して下さい。
	7、 本線と糸端を持ち更に引くと、巻き付けが半回戻り巻き付けの中で本線と糸端側が交差します。
	8、 結びが整ったら本線を針軸の内側にして撞木に結び目を当てます。
	9、 指抜きをしてペンチで糸端を持ち強く引いて結びを締めます。左手に持った本線が滑るとケガをするので必ず指抜きをして下さい。
	10、 結びが綺麗に締まって本線が針軸の内側に有るのを確認して下さい。
	11、 ペンチで針軸を持って本線を強く引き結びを撞木に密着させます。



12、
糸端を 1.5mm 残し切ります。糸端に残りが無いと結びが
ほどける事が有ります。

3、ラバー

先ずは材質です。天然ゴム、ハイパロンゴム、シリコンゴムが鯛ラバーに使用されていますが、私は強度、耐候性に優れ、絡み難いシリコンゴムを使用しています。色については是といった決定的な物は見つけれられていません。現時点では嫌いな色でなければ何でも良いと思っていますが、赤、オレンジが時期や場所を問わず実績が有ります。逆に白、夜光は良く有りません。今までに試した中で効果を感じたのは複数の色を組み合わせた物で、単色に比べ動きがハッキリ見えます。同じ理由で、マーブル模様のスカート为数本入れるのも良いと思います。

・図 2 6、使用材料



1、シリコンラバーシート各種



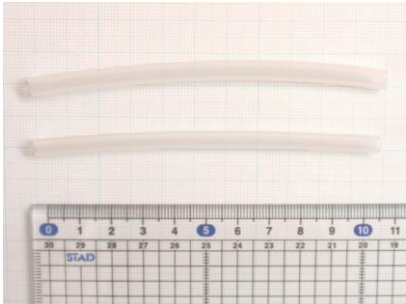
2、シリコンスカート各種



3、シリコンスカート各種



4、シリコンスカート各種

	シリコンチューブが柔軟性に優れラバーを通し易いです。ホームセンターなどで販売しています。
5、シリコンチューブ外形 5 φ 6 φ	

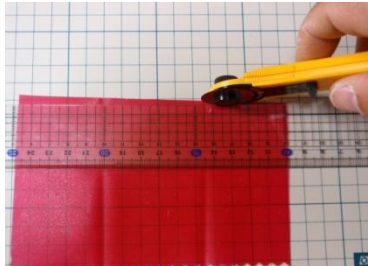
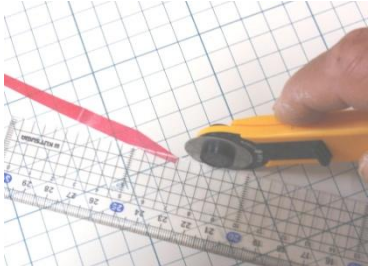
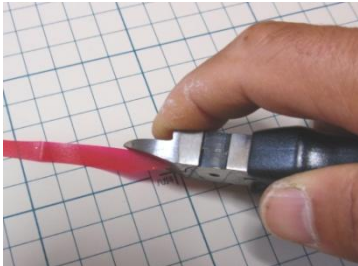
初心者は選ぶ色を迷うと思いますが、始めは実績の有る色だけで十分です。シートは赤、オレンジ、黄の3色。スカートは同じ3色に加え緑、茶、が有ればOKです。

・図27、使用する道具

	使用する道具 1、カッターマット 2、定規 3、プラスチック用ニッパー 4、ロータリーカッター 28mm 5、ロータリーカッター 45mm 6、45mmピンキング刃 7、45mmウェーブ刃
--	---

(1) 切り方

・図28、ストレートネクタイの切り方

		
1、ロータリーカッターで切る	2、端を切り揃える	3、ニッパーを使うと簡単

・図29、三日月ネクタイの切り方

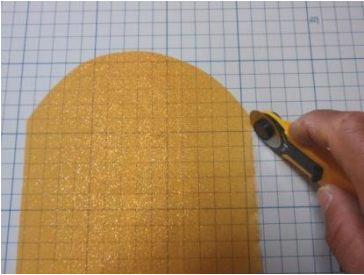
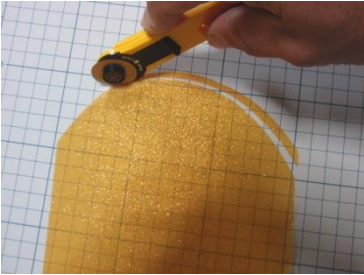
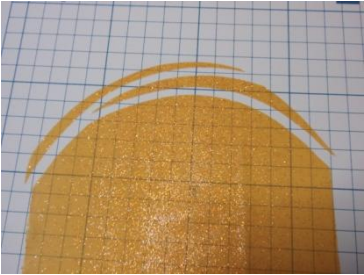
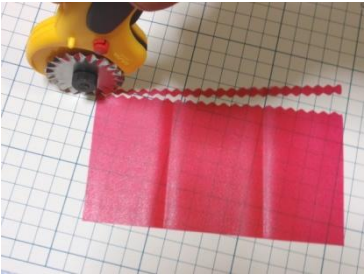
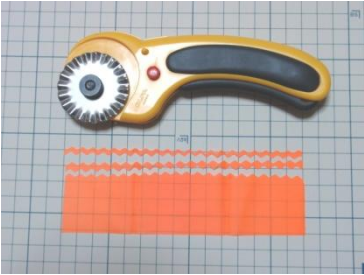
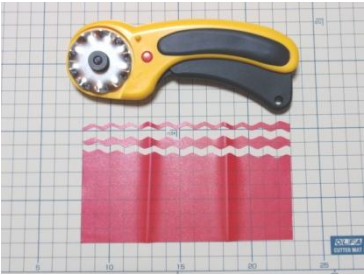
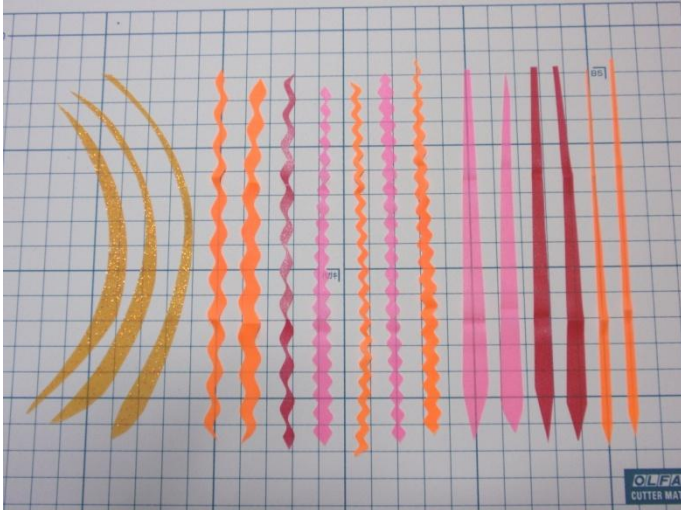
		
1、端から切り込む	2、曲がりに沿って切り進む	3、左右交互に切っていく

図30、波型切り

		
1、4.5mmロータリーカッター	2、4.5mmピッキング刃	3、4.5mmウェーブ刃

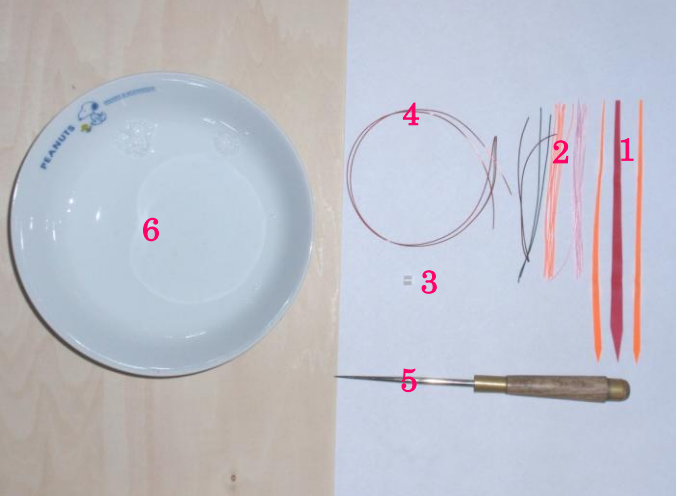
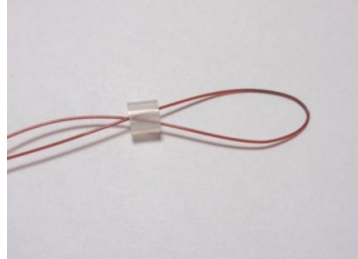
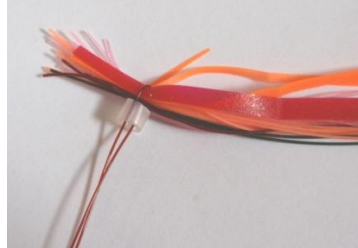
(2) 形、大きさ

図31、形や大きさは何種類か用意しセッティングに合わせ使い分けます。

	・ストレート型は幅8,6,4mmを用意。 ・三日月型は幅8mm、細くすると揺れ無いので意味が有りません。 ・波型は細いと切れ易くなります。
---	---

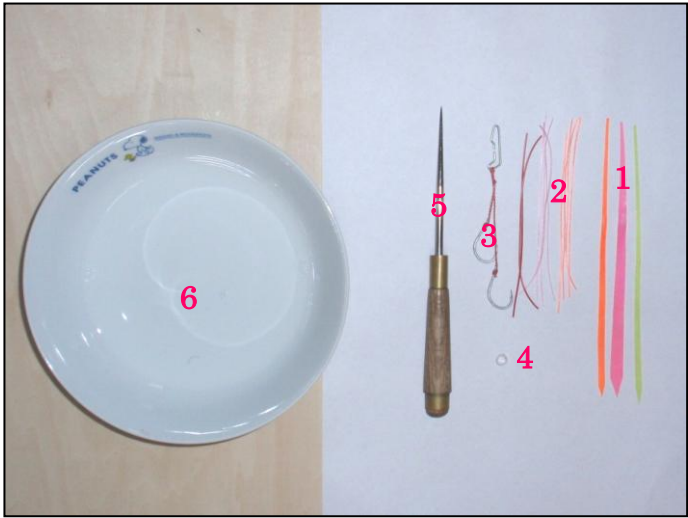
(3) 組み方、

・図3 2、差し込み式、(ラバーをフックアイに差し込むタイプの物)

	準備する物 1、ネクタイ 2、スカート 3、シリコンチューブ切った物 4、テグス 5、千枚通し 6、小皿に水を入れ洗剤を2滴混ぜた物
	(1) テグスにシリコンチューブを通しておきます。
	(2) ネクタイ、スカートをまとめます。この時、千枚通しを使うと便利です。
	(3) 洗剤を入れた水につけ、シリコンチューブに通し易くします。
	(4) 先ほどシリコンチューブに通しておいた、テグスの輪にまとめたネクタイ、スカートを通します。

	(5) テグスを引きシリコンチューブに通します。
	(6) ネクタイ、スカートの長さを調節してラバーセットの出来上がり。左図に有る様なタイプのヘッドに使えます。シリコンチューブの太さ、長さはヘッドに合う物を選んで下さい。

・図 3 3、ビンビン玉用

	準備する物 1、ネクタイ 2、スカート 3、金具と針 4、シリコンチューブ切った物 5、千枚通し 6、小皿に水を入れ洗剤を2滴混ぜた物
	(1) 金具にネクタイを通し長さを調節する。

	(2) スカートをまとめる。この時、千枚通しを使うと便利です。
	(3) 金具にネクタイ、スカートを通し長さを調節する。
	(4) 洗剤を入れた水につけ、シリコンチューブを通し易くします。
	(5) シリコンチューブを通して出来上がり。

・ 図 3 4、色の組み合わせを変えた物やセッティングに合わせた物を用意しておきましょう。

 色を変えた物	 セッティングを変えた物	 仕掛け入れに整理して置くと は便利です。
---	--	--

(4) 鯛の目で見ると

出来上がったらヘッドに取り付けて見ましょう。カブラの外観は机に置いて眺めても意味が有りません。竿に取り付け水中で上下させて確認するのが良いのですが、それでも海中で見ている鯛と同じ状態とは限りません。見る角度を変えて鯛が当たって来る時と同じ様に、屋外でぶら下げ見上げてみて下さい。新しい発見が有ると思います。

図 3 5

	
・鯛が横からの姿を見ているのは一瞬では？	・追っている時はこんな感じ ・色によっては全く違う色に見える物が有ります

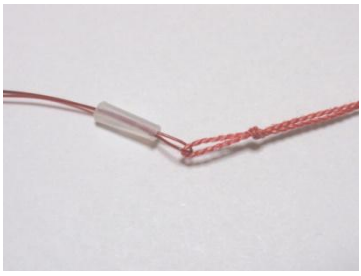
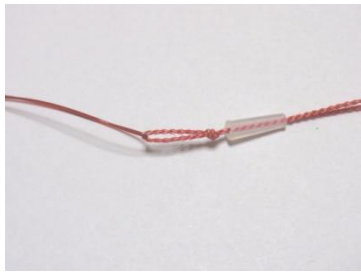
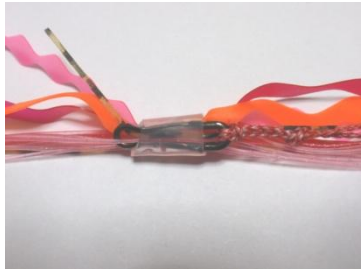
4、セッティング

いよいよカブラを組んで行きます。ここでは市販ヘッドを使った方法を説明します。セッティングをする際、もつれ防止やチモトの止め方などを工夫する事で、セッティングの幅を広げる事が出来ます。

(1) もつれ防止、

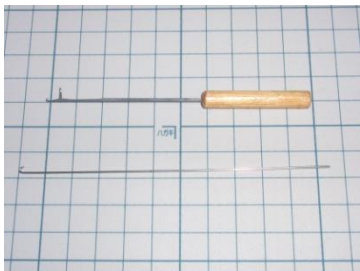
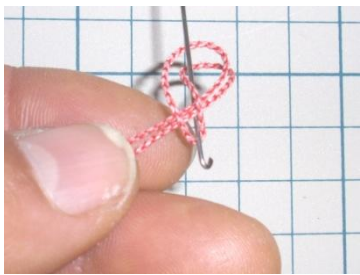
個別のセッティングを説明する前に必要なのがもつれ防止です。チモトを長くすると針がリーダーにもつれる易くなるので、それを防ぐ方法です。この方法でチモトを10cm程度に伸ばす事が出来ます。

図36

・差し込み式（ラバーをフックアイに差し込むタイプの物）		
		
		シリコンラバー製の浮きゴムをフックアイに付けたチモトに被せる。浮きゴムの大きさはチモトの長さに合わせ使い分ける。
・ビンビン玉用		
		
		ビンビン玉はハワイアンフックを使います。ラバーは差し込み式にしてチューブを8mmの長さにします。ハワイアンフックの大きさはチモトの長さに合わせ使い分ける。

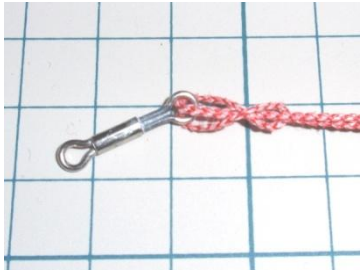
(2) チモトの止め方

・図37、乳輪の結び方

	(上) 市販糸通し (下) 自作糸通し、針金の先端をペンチで曲げた物。簡単な道具ですが有ると小さい乳輪が簡単に出来ます。
	(1) 糸通しで輪を作る。
	(2) 小さな輪でも簡単に通せます。
	(3) 金具に乳輪を通して止めます。

・図38、乳輪を使わない止め方

	(1) 糸の中央を金具に通し出来た輪にくぐらせます。
---	-----------------------------------

	(2) 更にもう一回くぐらせま す。
	(3) くぐらせた部分を糸側に持 って行きます。糸に2回巻 き付いた形に成ります。
	(4) 締めて出来上がり。乳輪に しなくてもチモトがズレ たりしません。

(3) セッティング

3章3時期、餌による当たりの違いで説明した様に、鯛の当たり方は状況により変わります。この為、全てに通用する万能型のカブラは有りません。状況に合ったセッティングを見つける事が釣果に直結します。良いセッティングを見つけるには、掛る率を上げる、掛けたら外れない、を基本に今まで見馴れた外観にこだわらず、機能を追求する考え方に主眼を置いて下さい。

・図39、時期別セッティング表

時期	タイプ	チモト	針
早春 3、4月	長針	チモト6～8cm	針11～12号
春 5月	長針	チモト4～7cm	針12～13号
初夏 6、7、月	大針	チモト2～5cm	針13～14号
夏 8月	大針・中長針	チモト3～6cm	針12～14号
秋 9、10月	中長針	チモト4～7cm	針12～13号
冬 11、12月	超長針	チモト6～9cm	針11～12号

・図40、セッティング見本（ビンビン玉60g）



- (1) 門マダイ12号チモト+金具85mm×2本
追いかけて喰いに的を絞り低水温でやや大人しい時期のセッティングで、VS巻きで威力を発揮します。
- (2) PEマダイ13号チモト+金具75mm、65mm
追いかけて喰いに的を絞り春、活発な時期のセッティングで、VS巻きで威力を発揮します。
- (3) 門マダイ14号チモト20mm、45mm
ヘッドに歯型が残る様な何処にでも喰い付く、荒々しい時期のセッティング
- (4) PEマダイ14号チモト20mm、門マダイ12号、チモト45mm
(3)と同じ時期のセッティング
- (5) 門マダイ13号チモト25mm、50mm
ガツガツと強く当たる、引っ張る様な前当たりが有る時のセッティングで、VS巻きで威力を発揮します。
- (6) 門マダイ11号チモト85mm×2本
追いかけて喰いに的を絞り水温低下で弱々しい時期のセッティングで、VS巻きで威力を発揮します。

「秘伝」

セッティング見本は私が実績を上げている物ですが、V S 巻き、速巻きで引いています。引き方が異なるとセッティングも微調整が必要になります。

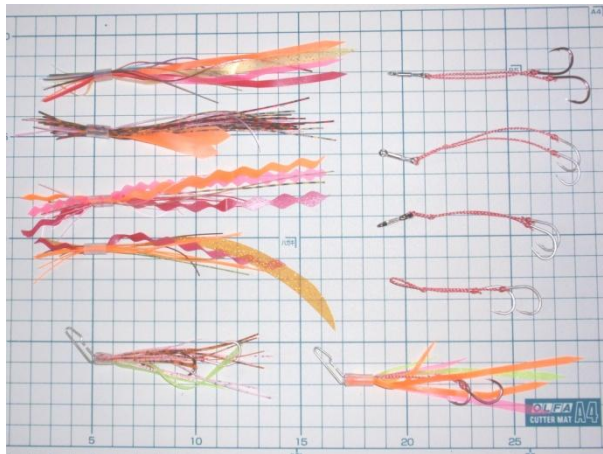
掛る率を上げる、掛けたら外れない、為の最も重要な「秘伝」は鯛が最初に咥える位置に針を置く事です。ラバーだけを最初に咥えた時と、最初に針を咥えた時では、一発当たった後の反応が全く変わって来ます。針を咥えていれば引っ張る力に逆らい必ず反転します。鯛の咥える位置が解りそこに針を置ければ、当たり→反転→針掛の方程式が成り立つのです。引っ張る様な当たりで掛けるのが難しい時でも、コンニャンドを使い、当たり→反転→針掛の方程式に持ち込めるのも鯛が最初に咥える位置に針を置いているからなのです。

しかしセッティングで咥える位置をどこかに集中させる事は出来ません。また咥える位置がヘッドの場合、針掛させるのは困難です。V S 巻き、速巻きは当たりを増やす効果と同時に追いかけ喰いをさせ、ラバーの後ろ部分を咥えさせる割合を高くする事が出来、セッティングを決めやすくなります。この様にセッティングと巻き方は相互依存関係に有り、相乗効果を得る事が出来れば、当たりを8割以上で掛け取り込む事も夢では有りません。

・図41、ラバーセッティングの見本



- (1) 初夏・夏 ヘッドに歯型が残る様な何処にでも喰い付く、荒々しい時のセッティング
針掛最優先、スカート主体で構成。ネクタイは針掛の妨げになるので極細を使用。居たら、とにかく当たって来る時は音で引きつければ、見た目不要。超マダイ攻略は是。
- (2) 夏・秋 引っ張り当たり、ガツガツと強い当たりが混ざっている時のセッティング
極細ネクタイを束ねた構成。ネクタイの長さは当たり方に合わせ、切って調整。この位のチモトならチューブを少し長くすればモツレ防止できます。
- (3) 早春・冬 、追いかけて喰いに的を絞り水温低下で弱々しい時期のセッティング
波形ネクタイの効果は不明ですが、引いた時、色がまだらに見えます。
- (4) 春・秋 追いかけて喰いに的を絞り、活発な時期のセッティング
三日月ネクタイは、曲がり方、長さで、揺れを変える事ができ、渦巻き形の様にモツレません。
- (5) 春・秋 追いかけて喰いに的を絞り、活発な時期のセッティング
ネクタイを針より短くし、スカートを長くして針掛を優先にしたセッティング。



当たりが連続しているのに掛らない時や、連続して外れる時は、明らかにセッティングが合っていない。必ずセッティングを何種類か用意して乗船しましょう。出来れば針の種類、大きさを変えられる様に予備を準備して下さい。

(パーツごとに分けたものを準備しておくと船上で組み換えて対応出来ます。)

(4) 根掛り対策

起伏の激しい岩礁帯で根掛が頻発すると釣りに成りません。その場合の対処方法ですが、根掛し難くすると針掛も悪くなるので妥協点は各自で探して下さい。また道糸を細くする、フールを使う、竿を正しく構える、素早く巻き上げる、など底取りをする為の基本を守る事が先決です。

図 4 2



5、スナップ金具の利点

カブラとリーダーの結接は直接する人もいますが私は必ずスナップ金具を使用しています。その利点は

- ・直結びは鯛が暴れカブラを振り回した時、結び目が動き切れ易い。
- ・鯛がヘッドを咥えた時、歯がリーダーに当たり難い。
- ・ビンビン玉は本体に挿入した金具がズレ結びが切れる事が有るので、その防止策。

などですが、結びは締まって来ると強度が低下します。スナップ金具を使用していてもリーダーの結びは1時間程度で、結び直して下さい。またドラッグが滑る様な強い引きが有った時も結び直して下さい。

6章 道具

鯛ラバーで使用する道糸は、先ずカブラで底取り出来る事に重点を置き選定するので、大鯛の引きに耐える強度は有りません。しかし釣り人の竿捌きとリールのドラッグを駆使し、相手が弱るまで耐え抜き釣り上げる事に醍醐味が有るのです。不適切な道具では鯛と渡り合う事は出来ません。選定順に道具の役割、特徴をまとめてみましたので参考にして下さい。

1、道糸、リーダー

ここ数年で鯛ラバーが脚光を浴びる様に成ったのは、次世代PEの登場と糸編み技術の進歩により1号以下のPEラインの強度が向上した事により、今までは道糸に鉛を割り付けたビシマ糸でしか使えなかったカブラを、極細の道糸を使用したジギングスタイルの釣りに応用出来る様に成ったからです。その為、鯛ラバーでは道糸を道具選定の第1番目にするのが基本です。

(1) PEラインの長所、短所

- ・特徴、強度が非常に高く同じ強度なら細く出来る。編み糸なので柔軟で癖が付かない。伸びが殆ど無く当たりの感度が良い。
- ・短所、伸びが少ないので衝撃力に弱い。表面が滑りやすく結び難い。編み目が緩むと切れやすい。

(2) PEラインの選定

来島海峡では0.6号を主に使用しています。潮流の緩い日は0.8号でも対応出来ませんが、大潮の日は0.4号を使わないと底取り出来ない時もあります。しかし0.4号は慣れないと糸切れの連続となります。糸には10m色分けと1mマーキングの付いている物が使いやすく、8本撚りの糸は編み目が密で耐久性が有ります。またメーカーにより同じ号数表示でも太さが少しずつ違います。選ぶ場合は強度表示も参考にして下さい。

(3) リーダー

リーダーは衝撃力に弱いPEラインの短所を補う為に付けています。透明で目立たなくする為や根掛りの捨て糸では有りません。道糸に合った正しい組み合わせで必ず付けましょう。

・材質

ナイロンは柔軟で良く伸び衝撃力を吸収し、伸びきるまで切れない性質がPEラインと最も相性が良いです。根ズレを考慮する必要は無いので硬いフロロカーボン是不向きです。

・太さ

道糸の強度と同じ物を選定するのが基本ですが、根掛の少ない場所では2～3割増しの物まで使えます。PE0.6号にはナイロン3号が標準です。

・長さ

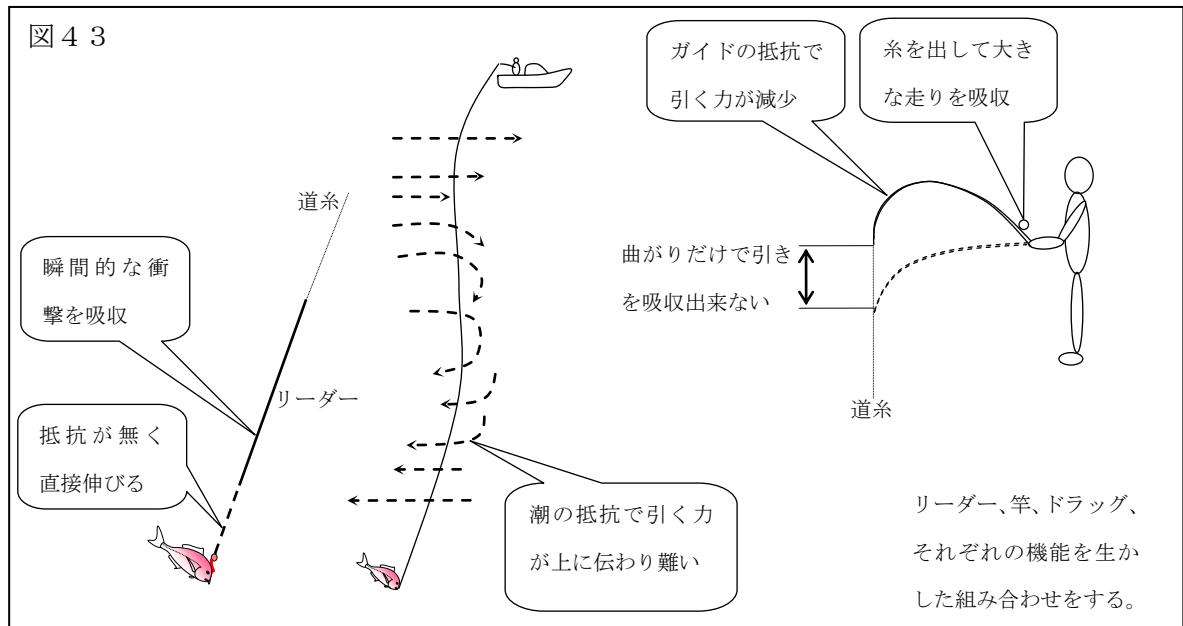
8mが基本です。ナイロンの場合この長さが有れば切れるまでに、1.5～2m程度伸び衝撃力を十分吸収してくれます。ナイロンの特徴を生かす為にはこれだけ長さがが必要です。

・ドラッグとの違い

リーダーは鯛の最も近い所に有り、潮の影響を受ける事なく鯛の引きを吸収します。特に瞬間的な衝撃に対し 100%機能します。ドラッグは大きく走られた時、何メートルでも糸を出す事が出来ませんが、潮の抵抗、ガイドの摩擦などにより設定値以上の力が瞬間的に糸に掛ります。リーダーとドラッグでは機能が違うのです。

・リーダー及びリーダーと道糸の結びは消耗品です

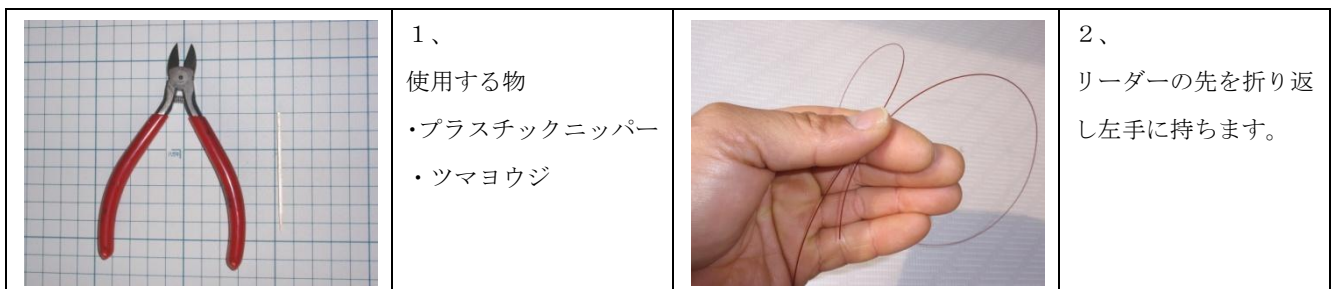
釣行前日に必ず交換して下さい。特に結束部の P E 側は編み目が緩み易く、1 日使用する
と強度が低下し最も切れ易い箇所です。

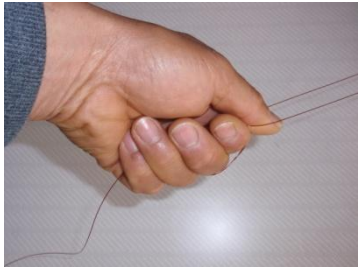
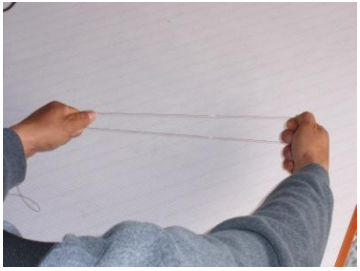
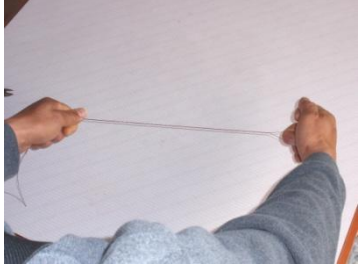
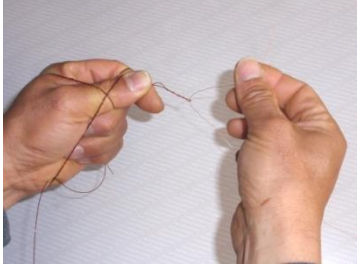
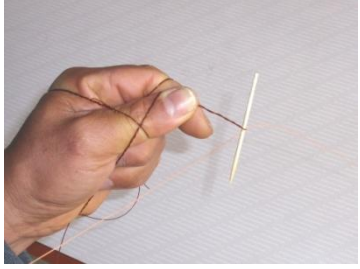
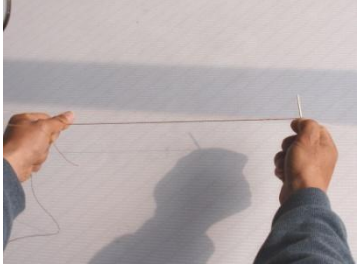
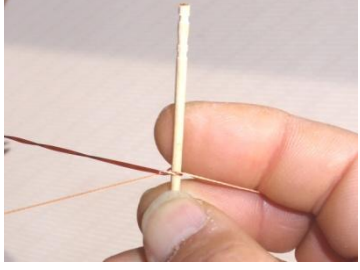
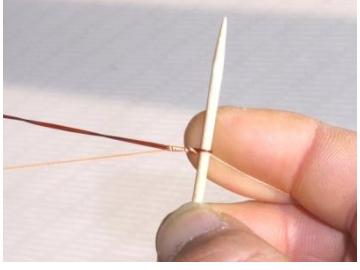
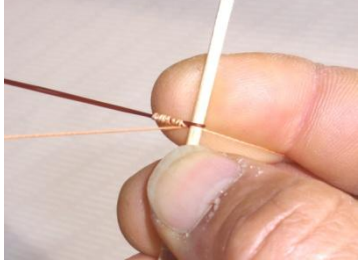
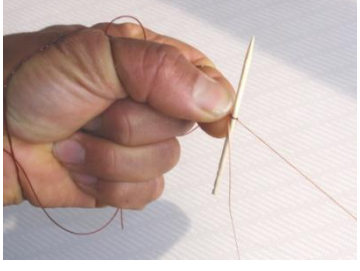
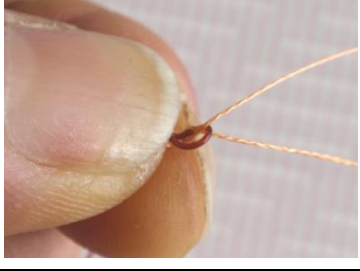
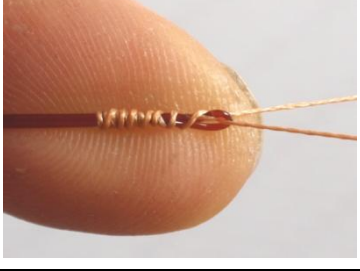


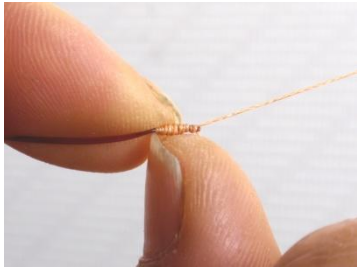
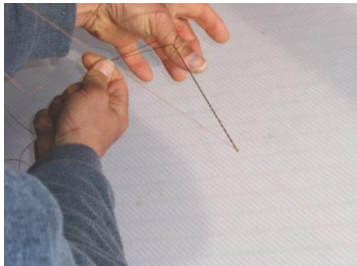
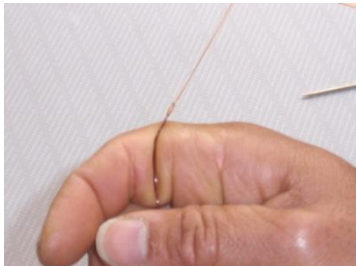
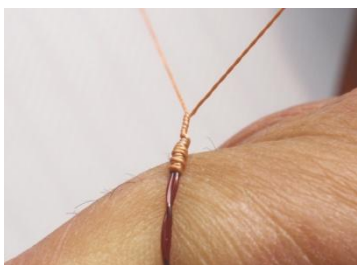
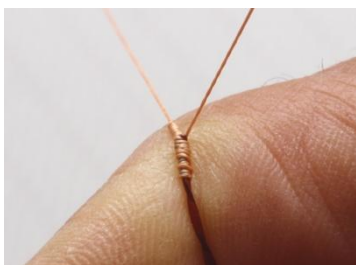
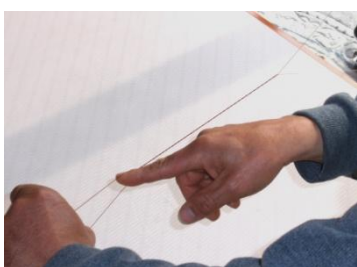
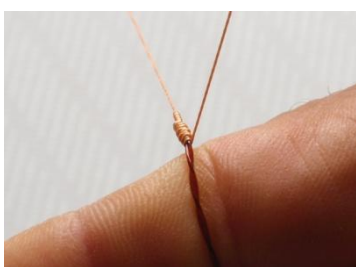
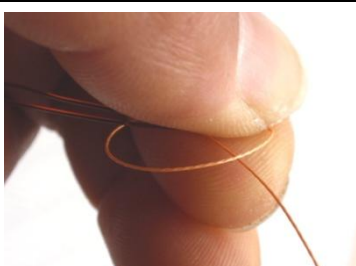
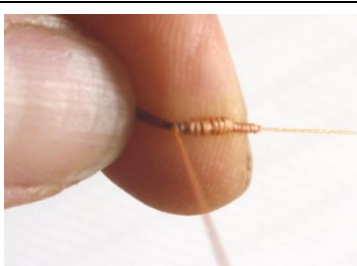
(4) リーダーの結び方

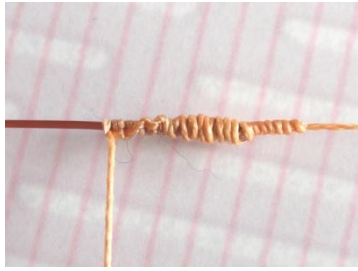
道糸とリーダーの結びは仕掛け作りにおいて、最も技術を要する部分の一つです。しかも道糸が P E 0.6 号とも成ると少しのミスでも強度が大きく低下します。釣り雑誌などを参考にして練習を重ね習得して下さい。私が使用している結びを紹介します。結び目は少し大きく成りますが、リーダー、道糸とも結びの中で二重に成っているので強度は非常に高いです。また熟練すると結びの形を流線型に仕上げられる事と、リーダーの端をハーフヒッチで押さえて有る事により、ガイドの通りがスムーズです。

図 4 4、リーダーの結び方



	3、 リーダーを左手中指、人差し指に一回巻き、二本の間に親指を入れ、滑らない様しっかり持ちます。		4、 右手の中指、人差し指でリーダーの輪を持ち捻じります。
	5、 捻じりを 60 回加えます。		6、 捻じりが戻らない様に、左手にリーダーを巻き、人差し指と親指でリーダーの先端を持ち、輪に道糸を通します。
	7、 リールを固定または足で押さえ、道糸の先端を咥え、テンションを掛けます。道糸と同じ輪にツマヨウジを通します。		8、 左手に巻いたリーダーを伸ばします。
	9、 ツマヨウジをリーダーの撚りが戻る方向に回し道糸をリーダーに巻きつける。		10、 リーダーの先端方向に 8 回巻き付ける。
	11、 8 回巻いたら、上にもう 8 回、道糸方向に巻き付ける。		12、 捻じりが戻らない様に、左手にリーダーを巻き、人差し指と親指でリーダーの先端を持つ。
	13、 ツマヨウジを抜き、先に通して有糸と逆方向に道糸端側を通す。		14、 2 本の道糸を引き巻き付けを締める。

	15、 巻き付けを先端に寄せる。		16、 左手に巻いたリーダーを伸ばし、道糸の先端を咥えテンションを掛ける。
	17、 右手でリーダーを持ち、左手を使いリーダーの撚りを結び側に寄せてから左手でリーダーを持つ。		18、 テンションを維持し、道糸本線と端側を合わせる。
	19、 撚りが戻る力を使い道糸2本を2mm程度、撚り合わせる。		20、 撚り合わせたら上に重ね反対方向に巻き付ける。
	21、 撚りが緩んで来たら右手で撚りを寄せて左手を持ち替える。		22、 リーダー側まで巻き付ける。段差が付かない様に綺麗に巻き付ける。
	23、 巻き付けが終わったらテンションを掛けたまま、左手親指で押さえる。		24、 巻き付けが緩まない様に押さえたまま、糸端をハーフヒッチで止める。
	25、 しっかり止まったか確認。		26、 ハーフヒッチを4回しリーダーの端側を結びギリギリでカット

	27、 更にハーフヒッチを6 回。		28、 糸端をカットし出来上 がり。
---	----------------------------------	--	-----------------------------------

2、竿、リール

船釣りでは素手で道糸を握る一本釣りが有りますが、素手で扱える道糸や仕掛けには限界が有りま
す。また竿やリールを使う事で微妙な当たりや糸フケを捉える事が可能になるのです。

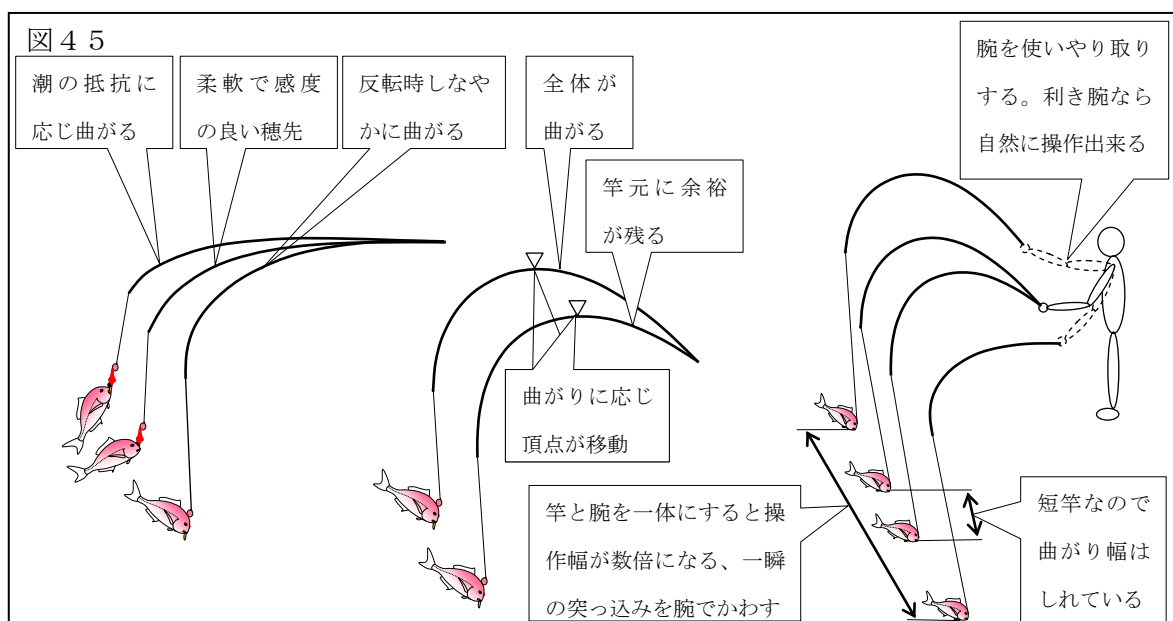
(1) 竿の役割

竿を使う事で手の感覚に加え視覚も使い、微妙な当たりや着底時の糸フケ、潮流の変化を察
知する事が出来る様になります。また鯛の瞬発的な引きをしなりで吸収したり、引きをかわ
し、引き寄せる時には腕の長さの数倍の幅で道糸を操作する事ができます。単に当たりを見
る、掛ったら溜めておくだけで無く、自分の腕に一体化させ使いこなせるよう心がけて下さ
い。その為に出来れば利き腕で竿を持つ様にして下さい。

(2) 竿の選定

鯛ラバーに必要な条件を上げてみましたが、竿は腕の一部とし使う物なので、釣り人の感覚、
好みを考慮し選定して下さい。

- ・潮の抵抗に応じ穂先が曲がる。
- ・当たりに対する感度が良い穂先。
- ・当たりから反転するまで鯛の動きに合わせしなる調子。
- ・掛けた時、道糸の強度範囲で全体が曲がる調子。
- ・道糸の限界付近でも竿元に余裕が残り操作出来る調子。
- ・曲がりに応じ頂点が手元に移動する調子

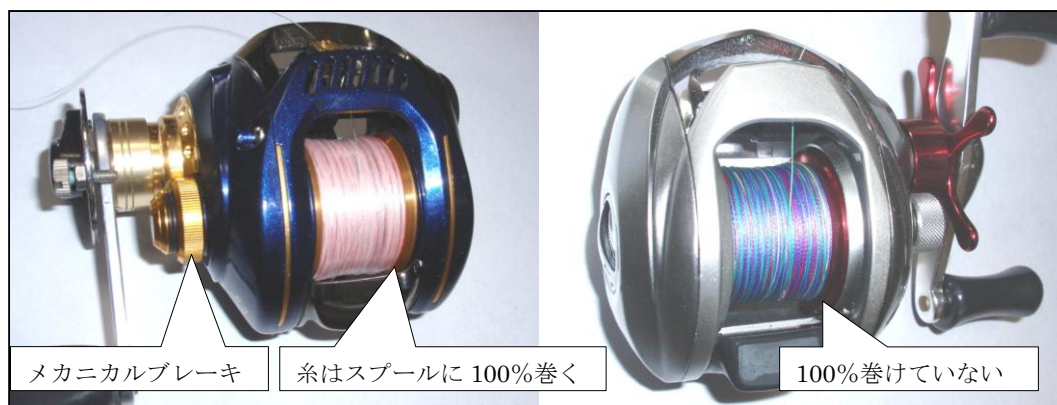


(3) リール

ベイト型リールを使用しますが、大鯛を仕留めるには高性能ドラッグが絶対必要です。P Eライン 0.6 号の強度は 10 ポンド=約 4.5kg 程度です。鯛の引く力は体重の 2～3 倍と言われており 70 cm、4 kg の鯛では 10 kg 以上の引く力を持っておりドラッグ無しでは太刀打ち出来ません。他にも鯛ラバーに必要な条件や使用時の注意点が有ります。

- ・ドラッグ設定の目安はライン強度の 15～30%、1.5 kg 以下で使用するのでこの範囲で微調整ができ滑り初めがスムーズなもの。
- ・1 日に何千回とクラッチ操作を繰り返すので、耐久性が有り、操作の軽いクラッチ。
- ・カブラ引き操作のし易い高速ギアとやや長めのハンドル。
- ・使用する道糸が最低 150m 巻ける事。
- ・糸は下巻きをして必ず 100%糸を巻いて下さい。この状態で巻き上げがリールの表示通りになり、ドラッグの微調整も出来ます。
- ・メカニカルブレーキの調整は竿に糸を通した状態で、2 号の錘がゆっくり落ちる程度から始め、底取りに慣れたら徐々に緩めて下さい。

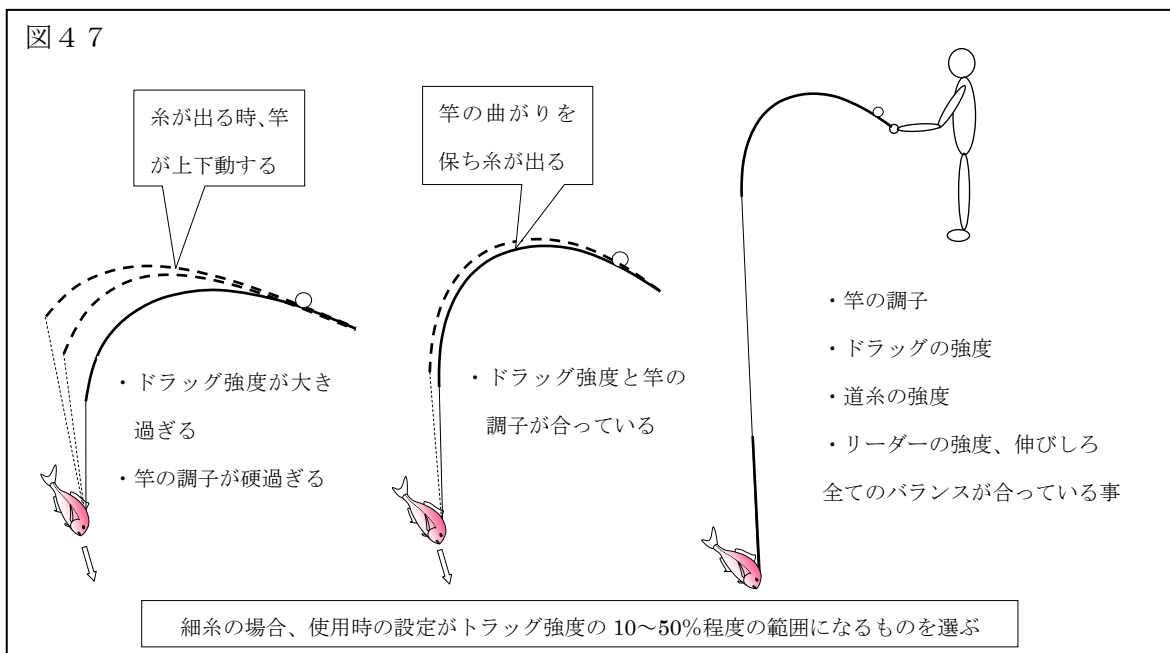
図 4 6、糸の巻き方



3、タックルバランス

道糸、リーダー、竿、リールと選定順に説明して来ましたが、実践では道具が一体になって機能するのは言うまでも有りません。ナイロンリーダーが P Eラインの欠点を補い長所を生かす。糸の強度範囲で引きに応じて曲がり鯛の動きを伝えて引きをかわす竿。なめらかに滑り糸切れを防ぎ鯛の力を奪うリール。これが私の考える鯛ラバーの良いタックルバランスです。道糸、リーダーの強度、長さのバランスが悪いと弱点の結び目切れが多くなります。竿の調子が必要以上に硬いもの、ドラッグ強度が必要以上に大きいものを使うと鯛の引きで糸が出て行く時、滑りが安定せず竿が上下に跳ね衝撃が道糸に伝わり切れ易く成ります。

バランスの取れた良い道具は、釣りを上達させ面白さを教えてくれます。道具を選ぶ時 単品の性能、特徴だけを考えるのでは無く、組み合わせた状態の性能、特徴を考える事がタックルバランスです。



7章 釣り仕度と船上での心得

初心者が遊漁船に乗る場合 解らない事も多いと思いますので、基本的な事をまとめて見ました。気になる事が有れば気軽に電話で問い合わせして下さい。

1、服装、荷物

服装は身を守る為の基本です。しっかり整えて下さい。遊漁船には他の御客様が同乗しています。一度出港したら自分の都合で帰港する事は迷惑になります。前日に準備、点検をお願いします。

- ・ライフジャケットは必ず着用して下さい。どの遊漁船も常備して有ります。
- ・船上では常に風波を受けしづきが上がります。雨服は常に携帯して下さい。
- ・夏でも上着を準備し、常に暖かい服装で乗船して下さい。着ている服は脱げても、無いものは着られません。
- ・素足やビーチサンダルでは乗船出来ません。ケガの元です。
- ・スパイクシューズでは乗船出来ません。船体に傷が付きます。
- ・荷物はクーラーBOXと道具バッグの二つにまとめて下さい。揺れる船上で足元が狭くなると危険です。
- ・ロッドケースの持ち込みはしないで下さい。船内にロッドホルダーが準備して有ります。
- ・ゴミ、空き缶、吸殻は所定の場所に入れ絶対 海に捨てないで下さい。

安全上の注意点

- ・海中への落水、や危険な事が有ったら大声で叫んで下さい。
- ・体調不良やケガなどをしたら直ぐに船長に伝えましょう。
- ・出船時間に合わせ十分 睡眠時間を取って下さい。
- ・カゼや二日酔いなど体調不良の人は乗船出来ません。

2、釣り座席の優劣

鯛ラバーでは通常、流し釣りと言う方法で潮の流れに船を乗せポイントを釣って行きます。鯛は潮上を向いて泳ぎながら餌を探しているの、潮向きと風向きで釣り座の優劣がはっきりします。その関係を図にしました。潮流はその釣り場では満ち潮、引き潮で、決まった向きに流れ船は上流から下流に流れます。風向きは天候や気温などにより変わり、船首は通常 風上を向く様に操船します。潮流の方向と船首の方向により良い席が決まります。風上は誰でも解るはずですが、潮流は道糸が斜めになるとその方向に流れていると思われる人がいますが、錨で停止している場合と違い流し釣りでは、船は水面に浮かび潮と同じ速さで流れておりそれだけでは道糸が斜めになることは有りません。風により水面に対し船が動いたり、潮流が水面付近と海底付近で違う場合に道糸が斜めに成るのです。流し釣りで潮の流れを見るには山立てで陸地を目安にどちらに移動したかで流れを掴みますが、経験が必要な事なので船長に聞くのが一番です。風向き、潮向きにより良い席が解るようになると、潮上の席では正確な底取り、潮下の席では糸を多目に出しカブラを人より離すなどの対処法が解る様に成ります。

図 4 8、風と潮が近い向きの場合

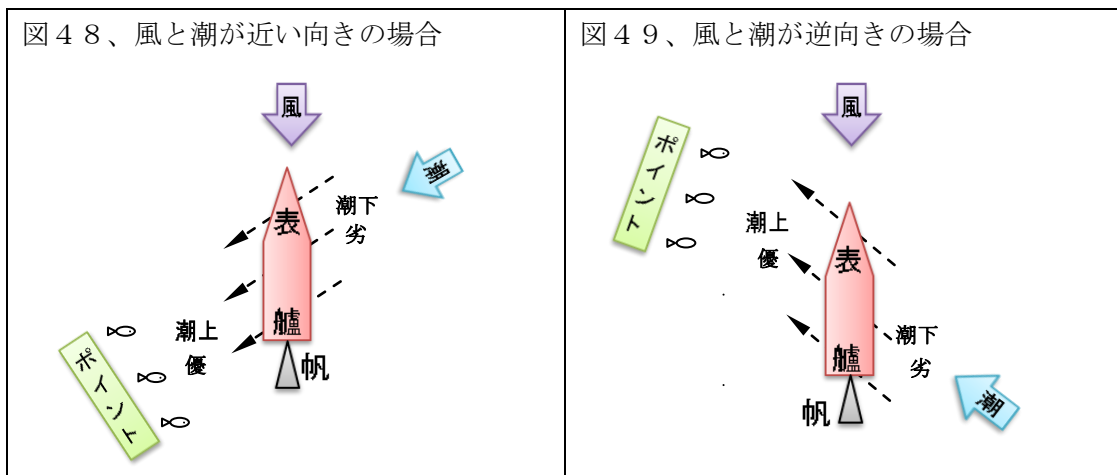
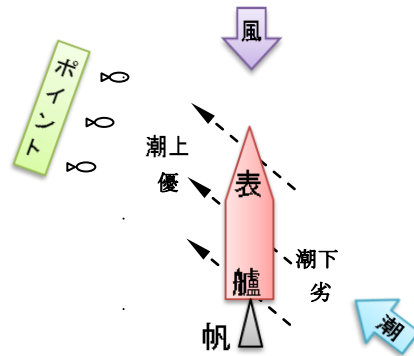


図 4 9、風と潮が逆向きの場合

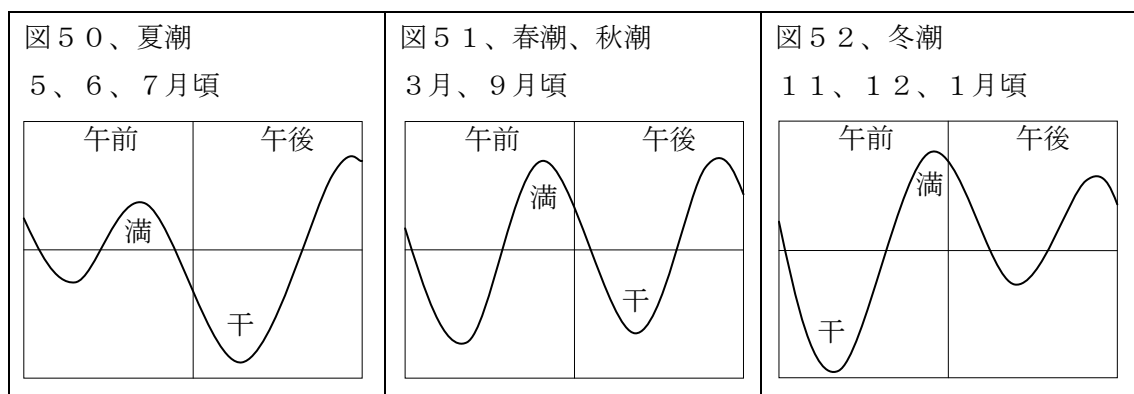


解説

図 4 8 の様に風と潮が近い向きの場合、艦側の席が最初にポイントを通過し鯛が潮上を向いた時に見える位置に有るので良い席に成ります。反対に表側の席は艦側の席に遮られる場所に有りポイントを通過した後、鯛が潮下を向いた時見える位置に有るので不利な席と成ります。図 4 9 の様に風と潮が逆向きの場合、表側の席が最初にポイントを通過し鯛が潮上を向いた時に見える位置に有るので良い席に成ります。反対に艦側の席は表側の席に遮られる場所に有りポイントを通過した後、鯛が潮下を向いた時見える位置に有るので不利な席と成ります。

3、タイドグラフの見方

釣り人なら潮汐表を見て出かけるのが普通だと思いますが、潮の大小や満潮、干潮の時間を見るだけではないですか。潮汐は常に同じ動きの繰り返しでは有りません。タイドグラフは潮汐を波形にして図示したもので、潮回りによる違いや季節の特徴が良く解るので見方を覚えて下さい。過去に好釣果を揚げた日の波形を参考に釣行日程の選定に役立てて下さい。



解説

図50は夏至頃の大潮波形です。夏潮の特徴は午前中より午後の潮の動きが大きくなるのが特徴です。大潮では動きの小さい午前、小潮では動きの大きい午後に時合いになる傾向があります。図51は春分、秋分頃の大潮波形です。春潮、秋潮の特徴は午前、午後の潮の動きが同じなのが特徴です。上げ潮が良い場所、下げ潮が良い場所などを重視しますが狙いが絞り難い時期です。図52は冬至頃の大潮波形です。冬潮の特徴は午前中の潮の動きが午後より大きいのが特徴です。大潮では動きの小さい午後、小潮では動きの大きい午前に時合いになる傾向があります。

4、仲間を増やそう、乗合船の楽しみ

乗合では他人と1日、船上で共に過ごす事になります。慣れない人には敷居が高いかも知れませんが乗合船ならではの楽しみ方もあります。釣友や馴染みの釣り具店さんなどと一度乗船して下さい。

- ・上手な人や、知らない釣り方をしている人など、新しい発見や、上達のヒントが見つかります。
- ・他人でも同じ釣りをする人同士、話が通じる。
- ・新しい釣友が出来るかも知れません。

また仲間が増えればグループで予約もし易くなり、定員になれば貸切にする事も出来ます。

- ・仲間がいると乗船し易い。
- ・仲間と大勢で競うと上達する。
- ・感動は仲間がいると倍増する。
- ・状況が悪い時は協力してヒットパターン探る。